



教育学習支援センター ニューズレター Center for Academic Practice and Resources, Newsletter

今年度の取り組み

○相談窓口の多様化

2022年5月より、教育学習支援センターの取り組みの1つである学習相談が「Microsoft Forms」でも、受付可能になりました。これまでのメールや対面での相談に加わる新しい相談用窓口として運用しております。

フォーム上で必要事項を入力し送信すると、教育学習支援センター学生スタッフより相談に対しメールで返答があります。平日10時～17時（12時～13時を除く）の窓口開設時間にご相談頂くと迅速に対応可能です。休業期間中は基本的に受付を停止しています。

2023年2月現在で相談件数は3件と滑り出しは鈍いものの、メールのように文面を考える必要がないため、今後利用者が増加すると期待して

おります。

また、「Twitter」のDM機能を利用した相談も、2022年10月のアカウント開設に合わせて開始しました。こちらの相談件数は2023年2月現在まだありません。

教育・学習に関する相談フォームは【<http://forms.office.com/r/VPcgP8nzGA>】です。

教育学習支援センターTwitterアカウントは【<https://twitter.com/HUcapr>】です。耳寄りな情報を発信しておりますので、是非フォローお願い致します。

○SNSの運用スタート

相談窓口周知のため、2022年10月から教育学習支援センターのSNSとしてTwitterアカウントの運用を開始しました。当アカウントではTwitterのDM（ダイレクトメール）機能を活用した相談だけでなく、相談窓口の開設状況、「新入生/広大生懇話会」や「TAセミナー」等

イベントの開催についてもアナウンスしております。

2023年2月現在、フォロワーは19人と鈍い滑り出しですが、今後はイベントでの周知やより学生にとって便利な情報を発信できるよう、積極的に活動して参ります。

○Hirodai TAマッチングプラットフォーム運用スタート

2022年12月、教育学習支援センターでは、ティーチング・アシスタントとして働きたい学生と、授業のサポートをしてもらいたい教員とのマッチングの機会を提供することを目的として、「Hirodai TAマッチングプラットフォーム」を創設しました。

当センターで学生からの「TA情報」と教員からの「TA募集科目情報」を収集・蓄積し、マッチングを行うシステムです。

学生は自身の専門領域やスキル、基礎的な実験能力、経験等を登録します。教員は当該授業で求める資質・能力、授業時間・期間等を登録します。

登録された「TA募集科目」はプラットフォー

ム上で公開され、学生は自身の都合に合った授業へと応募します。授業担当教員は応募のあった学生情報を参照、選考し、その後TAとして採用します。

詳しくは、

【https://www.hiroshima-u.ac.jp/capr/ta/matching_platform】に公開されています。

学生向け登録フォームは、

【<https://forms.office.com/r/SSSjv5tes7>】です。

教員向け登録フォームは、

【<https://forms.office.com/r/RypHdFRZiT>】です。

○教育学習支援センターの活動に参画する学生スタッフを紹介します！

- 氏名：尾崎 達哉（オザキ タツヤ）
- 所属：人間社会科学研究科 ・ 人文社会科学専攻 ・ 人間総合科学プログラム
- 専門分野・研究領域：政治経済学、社会学

●なぜ広島大学を選びましたか？

入学後に専門が変わることも視野に入れていたので、学部や研究の幅が広い本校を選びました。実際、学部では生物学や農学を学びましたが、大学院ではまったく違う経済学や社会学を学びました。どちらも今の自分にとって重要な糧となっています。また、学ぶ過程で多種多様な興味を持った方々と交流し刺激をもらったので、選択は間違っていなかったと思います。



●学生に伝えたいこと

今必要なことの他に、今やりたいことを大切にしたいと思います。勉強、資格、研究などが忙しく、よそ事は無駄のように扱われることもあるかと思いますが、でも案外そのよそ事が遠い将来大事になり得ます。



- 氏名：任 雅楠（ニン ガナン）
- 所属：人間社会科学研究科 ・ 人文社会科学専攻 ・ 人文学プログラム
- 専門分野・研究領域：倫理学、教育哲学、教育倫理、比較教育

●なぜ広島大学を選びましたか？

学部生の頃、母国の出身大学で日本語を専攻し、勉強してきました。その際、ずっと日本で留学し、勉強したいと思っていました。学部4年生の頃、当時、広島大学で留学していた親友と先輩から、広大のいろいろな良いところについて聞きました。雰囲気良くて、魅力的な広島大学へ留学したいと決めました。ご縁のおかげで、2017年の冬、広島大学の外国人留学生特別選抜に合格し、広島大学への留学が実現できました。

●学生に伝えたいこと

在学中の皆さんは、ぜひ学生時代の生活を大切にしてください。広島大学は、学生に対して、多岐にわたる素晴らしいプラットホームを提供してくれます。いろいろな事にチャレンジできて、羽ばたくことができる舞台だと思います。

- 氏名：山内 滉生（ヤマウチ コウキ）
- 所属：人間社会科学研究科・人文社会科学専攻・人文学プログラム
- 専門分野・研究領域：言語学、統語論、生成文法、日本語学
- なぜ広島大学を選びましたか？

広島大学を選んだ理由の一つとして、教育について興味があり、教員免許状を取得したいと考えていたというのがあります。教育について学ぶ環境として理想的な選択肢であると広島大学に対して認識していたからです。また同時に人間の言語についても興味を持っており、言語学の研究室も独立して存在したことも大きな理由です。このように異なる分野を両立して学ぶことができる総合大学があったことは私にとって僥倖であると思います。



- 学生に伝えたいこと

学生として是非新たなことに挑戦してみてください。もちろんリスクや不安、悩みはつきものです。しかし、それを支える制度や場所が広大には豊富に存在します。それらを活用して、活躍していってほしいと思います。

- 氏名：王元貞（オウ ゲンシン）
- 所属：人間社会科学研究科・教育科学専攻・国際教育開発プログラム
- 専門分野・研究領域：体育・スポーツ教育

- なぜ広島大学を選びましたか？

広島大学の教育学は日本全国においてレベルが高いと広く認識されています。広島大学は優秀な教育者、研究者を大勢集めており、これまで質の高い教員・研究者を養成してきました。謙虚な態度で自由且つ熱心に学び合う学生さんと一緒に成長して、大学教員になるという夢を叶えたいと思って、広島大学を選びました。

- 学生に伝えたいこと

自分の目標を忘れず、粛々と進めていけばいつかなんらかの形になってかえってくる。目標がなかなか見つからなくても大丈夫！早かれ遅かれ、勤勉に取り組んでいるあなたの目の前に現れるから！



- 氏名：櫻井 勇介（サクライ ユウスケ）
- 所属：教育学習支援センター/高等教育研究開発センター
- 専門分野・研究領域：国際教育、留学生教育、大学生の学び

●なぜ広島大学を選びましたか？

現代の日本の大学の教員は以前に比べ非常に多くの業務をこなさなければならず、大学の名前を背負って国内外に研究成果を発信し、学生に学びの機会を提供することで大学に貢献することだけでは十分ではなくなってしまいました。その中であっても広島大学は、教員の教育と研究活動を重視する大学という印象を持ちましたので、広島大学を選びました。

●学生に伝えたいこと

広島大学は800近くある日本の大学のなかでも、学生、教職員、施設のどの点においても恵まれた学びの環境を提供する大学だと思います。教室内外の様々な機会をとらえて、自分の強みを伸ばしてほしいと思います。



〔問い合わせ先〕
広島大学 教育学習支援センター
〔連絡先〕
Email: capr@hiroshima-u.ac.jp

教育学習支援センターの活動

≡ 新入生/広大学生懇話会

2022年度は新入生/広大学生懇話会を計4回開催しました。

懇話会では学部や研究科、国籍、年齢の垣根を越えて交流ができます。参加者は4,5人に分かれ、学生スタッフを交えた少人数のグループを作ります。簡単なゲームや日ごろの悩み、経験談等を通し、時には踏み入った将来の相談をすることで、懇話会が始まった2020年以降、好評を得ています。

今年度は「新しい友人作り」や「将来について悩んでおり意見を聞きたい」などを理由に多くの参加がありました。相談に対し学生スタッフだけが答えるのではなく、学生同士で意見を交換するなど、活発な活動がみられました。

○今後の支援サービスの拡大について

教育学習支援センターでは、学内サービスのハブとなることを目指して、他の学生支援、学修支援に関するサービス・センターとの連携・協働のための取り組みを進めております。

2021年度よりセンター連携のためのデータ取

≡ TAセミナー

2022年度は、TAセミナーを3回開催し、学生の間的好评を博しました。

TAセミナーは、Hirodai TA制度においてティーチング・フェロー（TF）あるいはクオリファイド・ティーチング・アシスタント（QTA）として広島大学の教育活動に関わることを希望する大学院生を対象に、TAとしての活動経験などについて実践的に学ぶ場を提供するものです。

今年度は、実務経験の情報共有、TA活動中の不安や葛藤など多様なテーマを中心に、留学生も交えて議論しました。学生からは、「学部の違う人たちや、博士課程の人たちから話を聞くことができ、いい経験になった」などの意見がよせられました。

集および協力依頼をし、2022年度は具体的に各センターでの聞き取り調査を開始しました。

学生の皆さんがより素早く、効果的に広島大学のサービスを享受し、問題解決できるよう、今後も取り組みを進めて参ります！